

修正日	断層番号	断層帯	修正場所 諸:諸元表 パ:パラメータ表 断:直交断面図 震:予測震度分布	修正内容
2009.08.03	0201	十勝平野断層帯主部	断	断層上端から下端までの鉛直距離 17km→16.97km
	0302	富良野断層帯東部	断	断層上端から下端までの鉛直距離 12.73km→13.79km
	0501	当別断層	断	断層上端から下端までの鉛直距離 12.73km→11.57km、断層上端までの断層面上の距離 4.24km→4.67km
	0601	石狩低地東縁断層帯主部	断	断層上端から下端までの鉛直距離 17km→16.97km
	0602	石狩低地東縁断層帯南部	断	断層上端から下端までの鉛直距離 12.73km→9.0km
	1201	能代断層帯	断	応力降下量16.4MPa → 16.7MPaに記載修正
	1402	真昼山地東縁断層帯北部	断	断層上端から下端までの鉛直距離 14.57km → 11.57kmに記載修正
	1802	山形盆地断層帯南部	断	小アスペリティの枠を走向方向に1メッシュ延長
	2001	長町-利府線断層帯	断	断層上端から下端までの鉛直距離 12.73km → 11.57kmに記載修正
	2401	会津盆地西縁断層帯	断	小アスペリティの面積48km <sup>2</sup> → 47km <sup>2</sup> に記載修正
	2402	会津盆地東縁断層帯	断	小アスペリティのメッシュサイズ 14km×6km → 12km×8kmに記載修正
	2501	楡形山脈断層帯	断	断層上端から下端までの鉛直距離 14.14km → 12.73kmに記載修正
	2601	月岡断層帯	断	断層上端から下端までの鉛直距離 14.14km → 12.73kmに記載修正
	2701	長岡平野西縁断層帯	断	断層上端から下端までの鉛直距離 19.6km → 19.66km
	3101	関東平野北西縁断層帯主部	断	断層幅のメッシュサイズ 18km → 20kmに修正。断層上端から下端までの鉛直距離 17.3km → 17.32kmに記載修正
	3401	立川断層帯	断	断層上端深さ 3km → 2km
	3501	伊勢原断層	断	断層上端深さ 3km → 1km、断層上端から下端までの鉛直距離12.18km → 15.59km
	4101	糸魚川-静岡構造線断層帯北部・中部	断	断層面積の計算ミス。それに伴い、各応力降下量を修正。Δσa14.2→14.1MPa、背景領域のΔσ3.0→2.9MPa、Δσ2.4 →2.3MPa
	4701	跡津川断層帯	断	南側セグメントの小アスペリティの面積 79.5km <sup>2</sup> → 79.6km <sup>2</sup> 、アスペリティ位置の注記追加
	4802	高山断層帯	断	断層長さのメッシュが50km分だったので、1列削除
	4901	牛首断層帯	断	断層長さのメッシュが56km分だったので、1列追加
	5001	庄川断層帯	断	ケース3、4に背景領域のパラメータが入っていなかったため追記。
	5102	伊那谷断層帯南東部	断	走向方向のセルが36km分だったので、1列削除
	5203	佐見断層帯	断	小アスペリティの面積 42.9km <sup>2</sup> → 31.7km <sup>2</sup>
	5303	恵那山-猿投山北断層帯	断	断層上端から下端までの鉛直距離 11.6km → 11.57km
	5304	猿投-高浜断層帯	断	断層上端から下端までの鉛直距離 16.3km → 16.31km
	5305	加木屋断層帯	断	北側断層の走向方向のセルが16km分だったので2列追加。断層幅16km → 18km
	5701	森本-富樫断層帯	断	断層上端から下端までの鉛直距離 14.1km → 14.14km
	6006	揖斐川断層帯	断	ケース1、2のアスペリティのサイズ表記 8km×12km → 12km×8km、ケース3～6のアスペリティの小アスペリティの面積 47km <sup>2</sup> → 31.7km <sup>2</sup>
	6007	武儀川断層	断	大アスペリティのメッシュサイズ記載 8km×8km → 8km×10km
	6101	柳ヶ瀬-関ヶ原断層帯主部北部	断	断層上端から下端までの鉛直距離 11.6km → 11.57km
	6501	琵琶湖西岸断層帯	断	傾斜角45度→70度。断層上端までの断層面上の距離 4.24m → 3.19km
	6701	養老-桑名-四日市断層帯	断	小アスペリティの面積 77.8km → 78.8km、南側セグメントの背景領域のすべり量0.8m → 0.9m
	6901	鈴鹿西縁断層帯	断	断層上端から下端までの鉛直距離 10.3km → 10.32km
	7101	布引山地東縁断層帯西部	断	断層長さのメッシュを1列追加
	7301	三方断層帯	断	断層上端から下端までの鉛直距離を16.59km → 15.59km
	7601	有馬-高槻断層帯	断	アスペリティのメッシュサイズの記載を修正12km×10km→10km×12km、8km×8km→6km×10km
	7701	生駒断層帯	断	小アスペリティの面積記載 53.7km → 57.3km
	7902	六甲-淡路断層帯主部淡路西岸区間	断	アスペリティ1つのケースのアスペリティの長さ×幅の記載を修正 12km×6km→10km×8km
	8101	金剛山地東縁-和泉山脈南縁	断	断層上端から下端までの鉛直距離 10.9km → 10.91km。わかりやすく全体を変更
	8103	讃岐山脈南縁-石鎚山脈北縁東部(M <sub>0</sub> 調整)	断	断層上端から下端までの鉛直距離13.8km → 13.77km
	8103	讃岐山脈南縁-石鎚山脈北縁東部(M <sub>0</sub> 合算)	断	断層上端から下端までの鉛直距離13.8km → 10.32km
	8202	山崎断層帯 主部北西部(モデル2)	断	断層長さのメッシュを1列削除
	8401	長尾断層帯	断	断層幅方向にメッシュを1行追加。断層上端から下端までの鉛直距離 9.18km → 10.32km
	8701	五日市断層帯	断	断層幅方向にメッシュを1行追加
	9203	大分平野-由布院断層帯東部	断	アスペリティ1つの場合の背景領域の応力降下量の記載を 2.9MPa → 4.0MPa に修正
	9302	布田川-日奈久断層帯中部	断	背景領域の応力降下量の記載を 2.8MPa → 3.7MPa に修正
	9401	水縄断層帯	断	断層幅16km→14kmに修正。メッシュを1行削除。断層上端から下端までの鉛直距離を13.86km→12.12kmに修正
	9501	雲仙断層群北部	断	小アスペリティのサイズを8km×6km → 6km×6kmに修正
	9502	雲仙断層群南東部	断	背景領域の応力降下量の記載を 2.5MPa → 3.4MPaに修正
	9504	雲仙断層群南西部南部	断	背景領域の応力降下量の記載を 2.5MPa → 3.4MPaに修正
	9901	サロベツ断層帯	断	アスペリティ面積を小数点まで
	10401	曾根丘陵断層帯	断	断層上端までの断層面上の距離 2km → 4km
	10801	警固断層帯北西部	断	ケース1→ ケース4に(強震動評価手法の検証ケース名に合わせる)

修正日	断層番号	断層帯	修正場所 諸: 諸元表 パ: パラメータ表 断: 直交断面図 震: 予測震度分布	修正内容
2009.08.17	8103	讃岐山脈南縁-石鎚山脈北縁東部(M <sub>0</sub> 合算)	パ	全地震モーメント、M <sub>j</sub> 、M <sub>w</sub> の値を修正
	8202	山崎断層帯モデル1, 4	パ	草谷断層 断層上端の深さのP波速度をS波速度に修正
2009.09.17	9401	水繩断層帯	震	断層幅のトレース図を16kmから14kmに修正
2009.10.02	8103	讃岐山脈南縁-石鎚山脈北縁東部	震	調整法 I と II の簡便法の図を修正
	8105	石鎚山脈北縁西部-伊予灘	震	調整法 I と II の簡便法の図を修正
2009.11.09	0201	十勝平野断層帯主部	諸	地震発生層の深さの長期評価下限15km程度を20km程度に修正。モデル化の3-15kmを4-19kmに修正
	6302	集福寺断層	諸	モデル化した断層長さを10kmから9.6kmに修正
2010.02.19	6701	養老-桑名-四日市断層帯	断	断面図のグレー部分を修正
2010.02.25	3501	伊勢原断層	震	簡便法の図を修正
2010.05.11	0401	増毛山地東縁断層帯	パ	Mjmaを小数点第1位まで表示
	5601	砺波平野断層帯西部	パ	断層帯名を修正
	5602	砺波平野断層帯東部	パ	断層帯名を修正
	5603	呉羽山断層帯	パ	断層帯名を修正
	7901	六甲・淡路島断層帯主部 六甲山地南縁-淡路島東岸区	パ	区間分けの南東側と記載していたのを南西側に修正
2010.05.19	4501	木曾山脈西縁断層帯主部北部	断	地表断層トレースの太線を北へ延長させたことを示すよう修正
	4503	清内路断層帯	断	地表断層トレースの太線を北へ延長させたことを示すよう修正
2010.06.18	5303	恵那山-猿投山北断層帯	パ	断層長さを長期評価による、ではなく、地図より形状に合わせて読み取ったと修正
	5303	恵那山-猿投山北断層帯	断	地表トレースの太線部分を60kmになるように修正(延長部1kmを削除)
	10501	魚津断層帯	震	簡便法震度分布図を修正(不動堂断層のトレース部分が抜けていた)
2010.12.14	0101	標津断層帯	パ	地中断層原点が地表の値になっていたのを修正
	4701	跡津川断層	パ	走向が東西(強震動用セグメント)で違う値を記載をしていたため59.6に修正
	7001	頓宮断層	震	詳細法の図の断層トレースの位置が誤っていた、簡便法のトレース、結果ともに誤っていたため修正
	8401	長尾断層帯	断	断面図の幅が16kmと記載してあったため、18kmに修正
2011.02.04	5603	呉羽山断層帯	断	断層上端の深さを 5.66m から 5.66km に修正
2011.05.10	1701	新庄盆地断層帯	震	簡便法の図を修正